

18歳意識調査 「第60回 -GDP・新NISA・モビリティ-」 報告書

日本財団 2024年2月1日

目次

	内容	ページ
調査概要		3
1. GDP		
	日本の名目GDPランキングについての認知	5
	将来についての不安	6
	日本の名目GDPランキングの推移予測	7
2. 新NISA		
	新NISA制度についての認知	9
	投資による資産形成への関心	10
	魅力的な投資先	11
	投資に関する情報源	13
3. モビリティ		
	将来の自動車・モビリティに対する期待	15
	将来の自動車・モビリティに対する不安	16
	高齢者の免許返納への考え	17

第60回18歳意識調査「GDP・新NISA・モビリティ」 調査概要

調査対象

全国の17歳～19歳男女

回答数

1,000

※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男	165	173	176	514
女	156	164	166	486
計	321	337	342	1,000

実施期間

2023年12月1日（金）～12月4日（月）

調査手法

インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

提示文章①

本アンケートでは、2023年に注目を集めたトピックについてお聞きします。

2023年10月に国際通貨基金（IMF）より、最新の経済見通しが発表されました。日本のGDP（※）及び国際競争力について、あなたの考えをおきかせください。

※英語表記「Gross Domestic Product」の略で「国内総生産」のこと。国内で、1年間に新しく生みだされた生産物やサービスの金額の合計で、その国の経済力の目安によく用いられます。

（中略）名目GDPは実額で表されますが、実質GDPは物価の変動分を考慮（インフレ調整）した数字です。

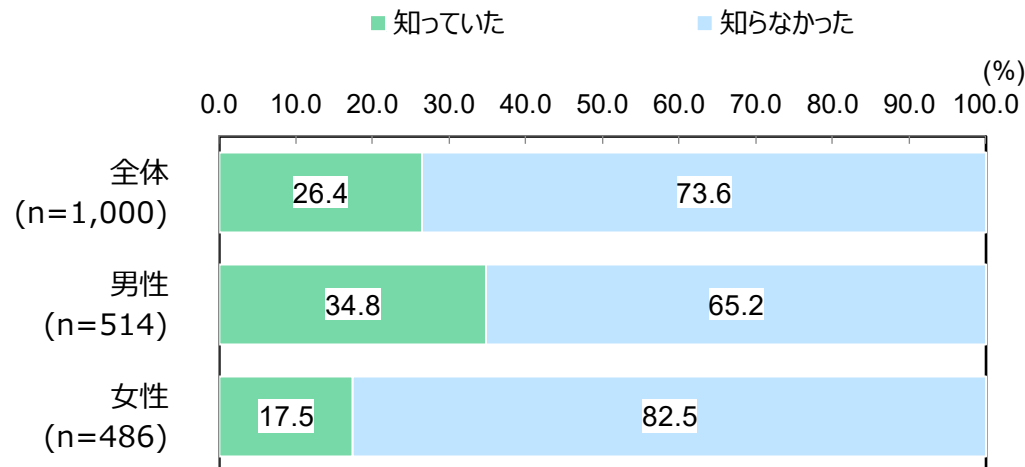
情報提供：株式会社時事通信社

（出所）わかりやすい用語集 解説：GDP（じーでいーぴー） | 三井住友DSアセットマネジメント

日本の名目GDPランキングについての認知

日本の名目GDPランキング低下について「知っていた」と回答したのは全体の3割弱。性別を見ると、男性では3割以上が「知っていた」と回答。

質問1：IMFは、日本の2023年の名目GDPが世界3位から4位に転落する見通しを示しました。あなたはこのことについて知っていましたか。（単一回答）



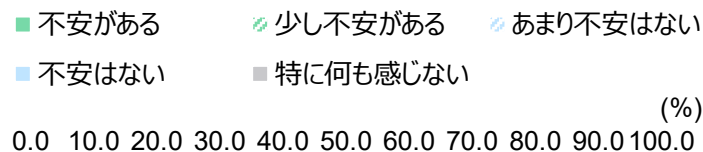
将来についての不安

日本の名目GDPランキング低下を踏まえ、全体の約7割が日本の将来について「不安がある」(*)と回答。また、自分の将来について「不安がある」(*)と回答したのは全体の約6割。

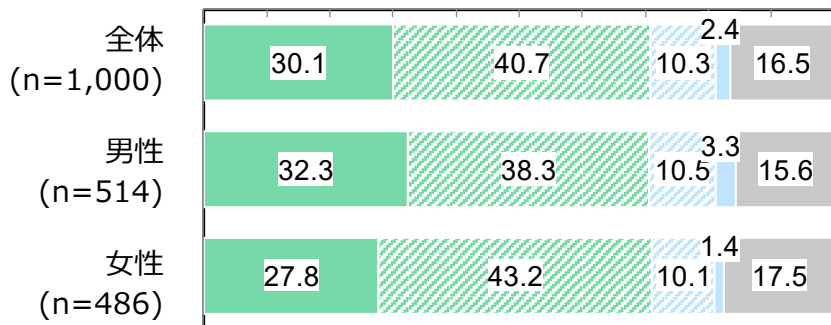
※ 「不安がある」、「少し不安がある」の合計。

質問2：日本の名目GDP が世界4位に転落する見通しであることを踏まえ、あなたは不安がありますか。（単一回答）

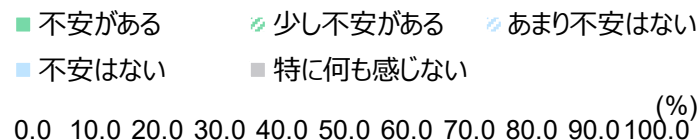
日本の将来



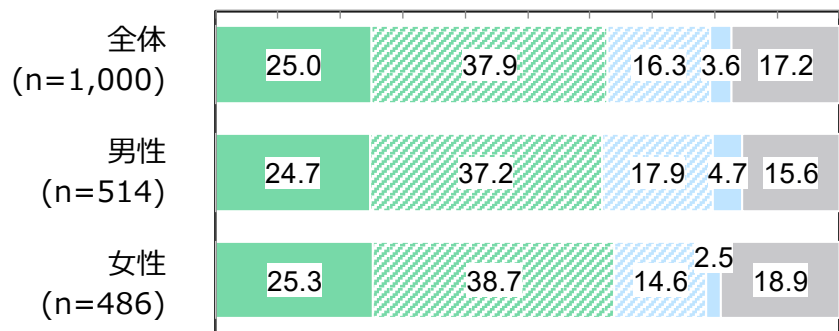
(%)
 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



自分の将来



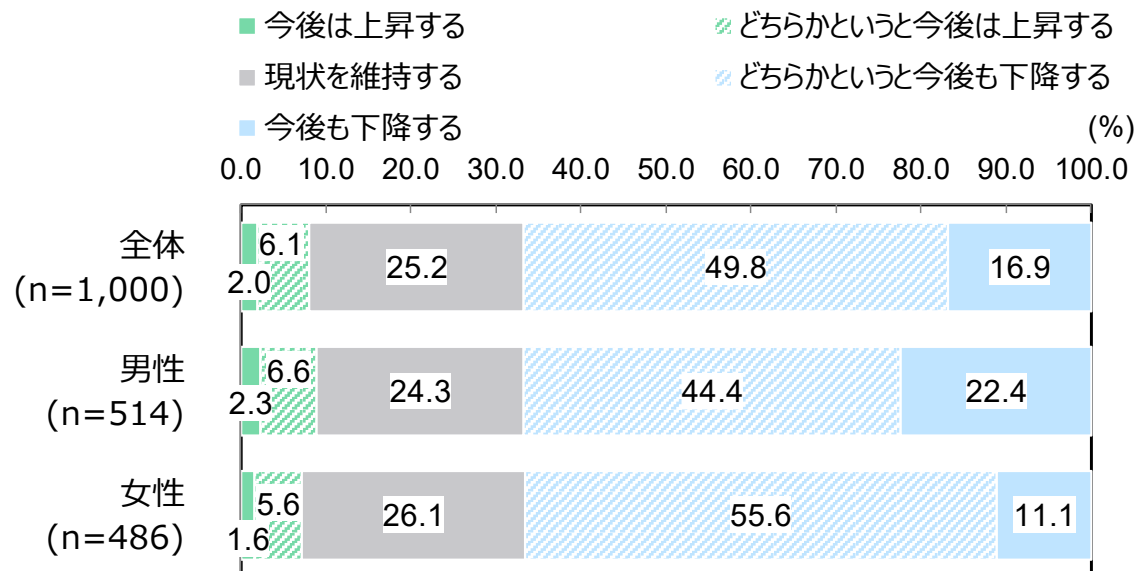
(%)
 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



日本の名目GDPランキングの推移予測

日本の名目GDPランキングについて、全体の7割近くが「今後も下降する」もしくは「どちらかというとも今後降下する」と回答。男性は女性よりも「今後も下降する」と回答した割合が11.3ポイント高い。

質問3：日本の名目GDPの世界ランキングは、今後どのようにになると考えますか。（単一回答）



提示文章②

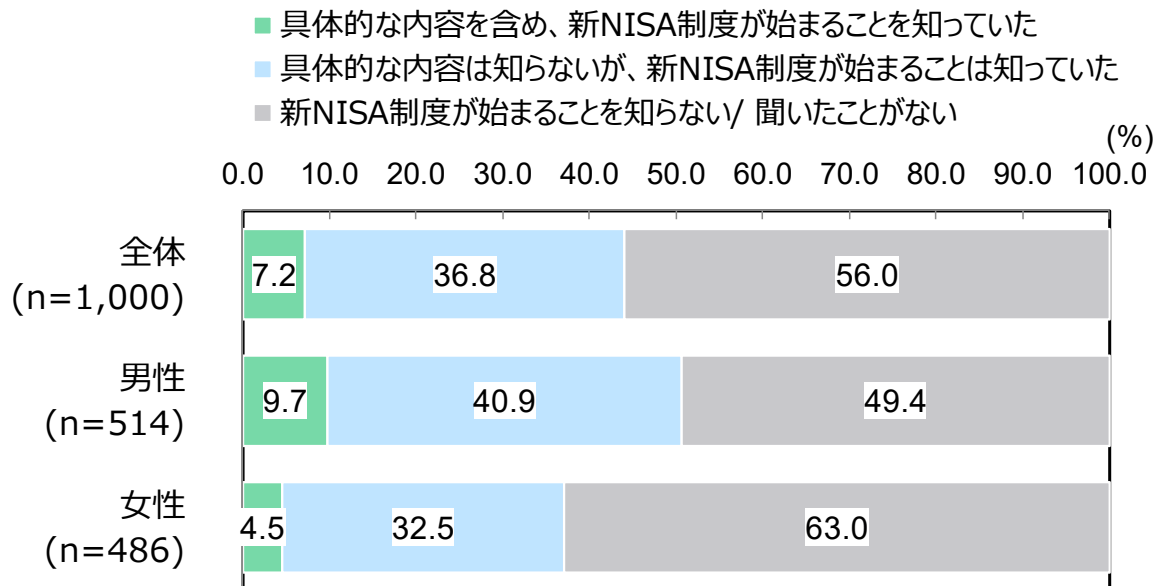
次に、2024年1月からスタートする新しいNISA（以降、新NISA制度と呼ぶ）についてお聞きします。

新NISA制度についての認知

2024年1月から新NISA制度が始まることについて全体の4割以上が「知っていた」(※)と回答。具体的な内容も含めて知っていたのは、男性では約10%、女性では約5%。

※ 「具体的な内容を含め、新NISA制度が始まることを知っていた」、「具体的な内容は知らないが、新NISA制度が始まることは知っていた」の合計。

質問4：2024年1月から新NISA制度が始まることを知っていましたか。(単一回答)

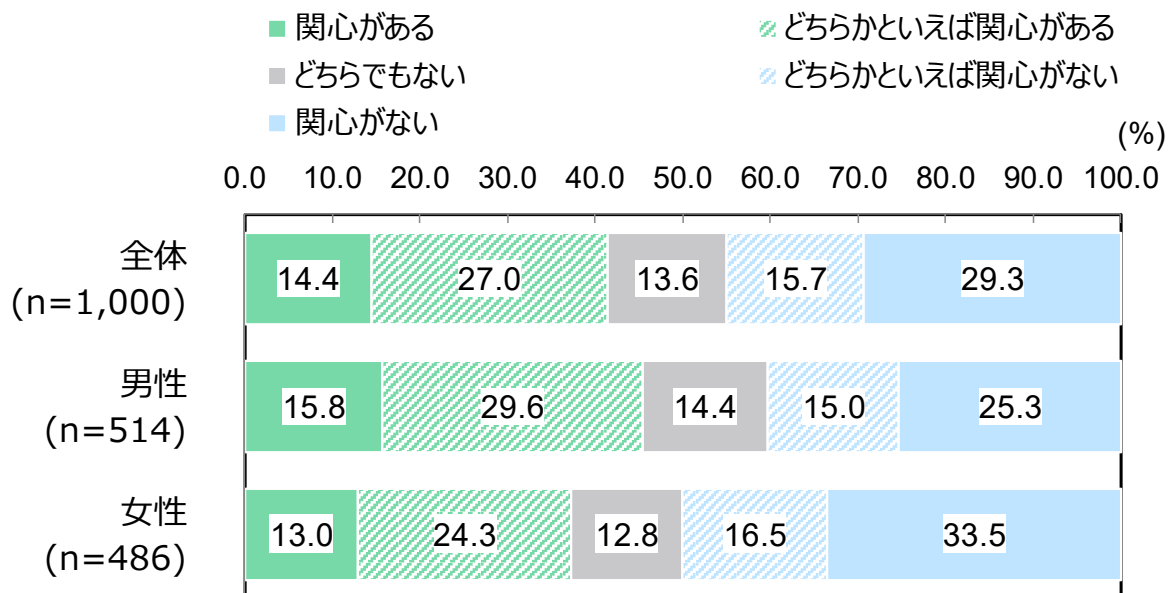


投資による資産形成への関心

投資による資産形成について、全体の約4割が「関心がある」(※1)と回答。男性では「関心がある」(※1)との回答が「関心がない」(※2)との回答を上回る一方で、女性では「関心がない」(※2)との回答が「関心がある」(※1)との回答を上回る。

※1 「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」の合計。※2 「関心がない」、「どちらかといえば関心がない」の合計。

質問5：あなたは、投資による資産形成に関心がありますか。(単一回答)

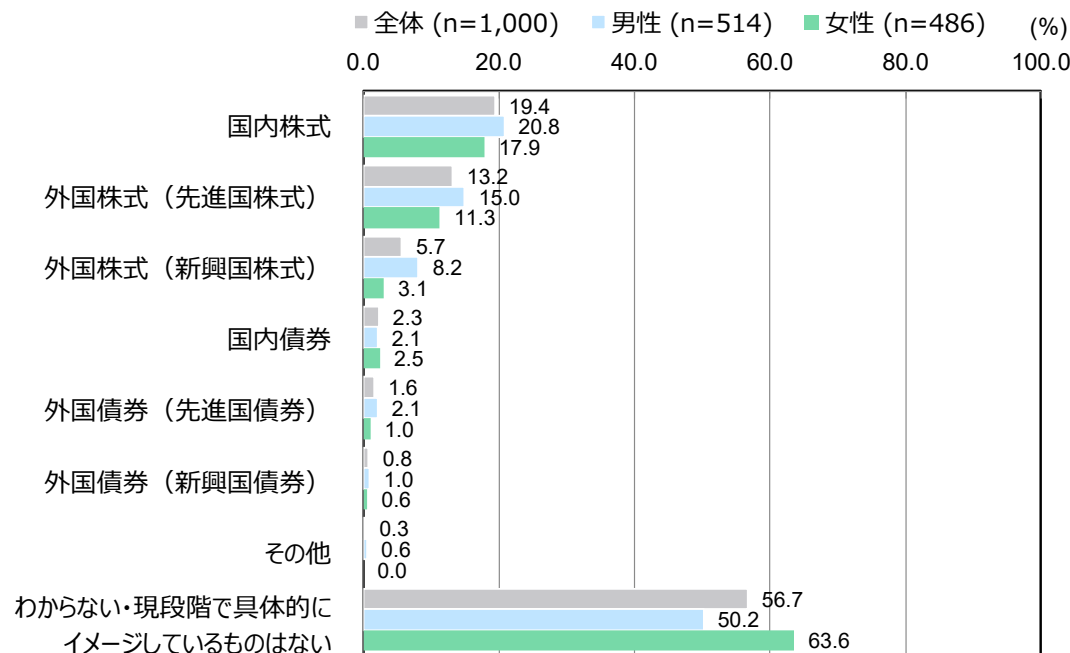


魅力的な投資先

最も魅力的な投資先については、「わからない・現段階で具体的にイメージしているものはない」との回答が最も多く、男性の約5割、女性の約6割を占める。これを除くと、女性では「国内株式」、男性では「外国株式」(※)と回答が最も多かった。

※ 「外国株式（先進国株式）」、「外国株式（新興国株式）」の合計。

質問6：投資先として、最も魅力的と感じるものはどれですか。（単一回答）

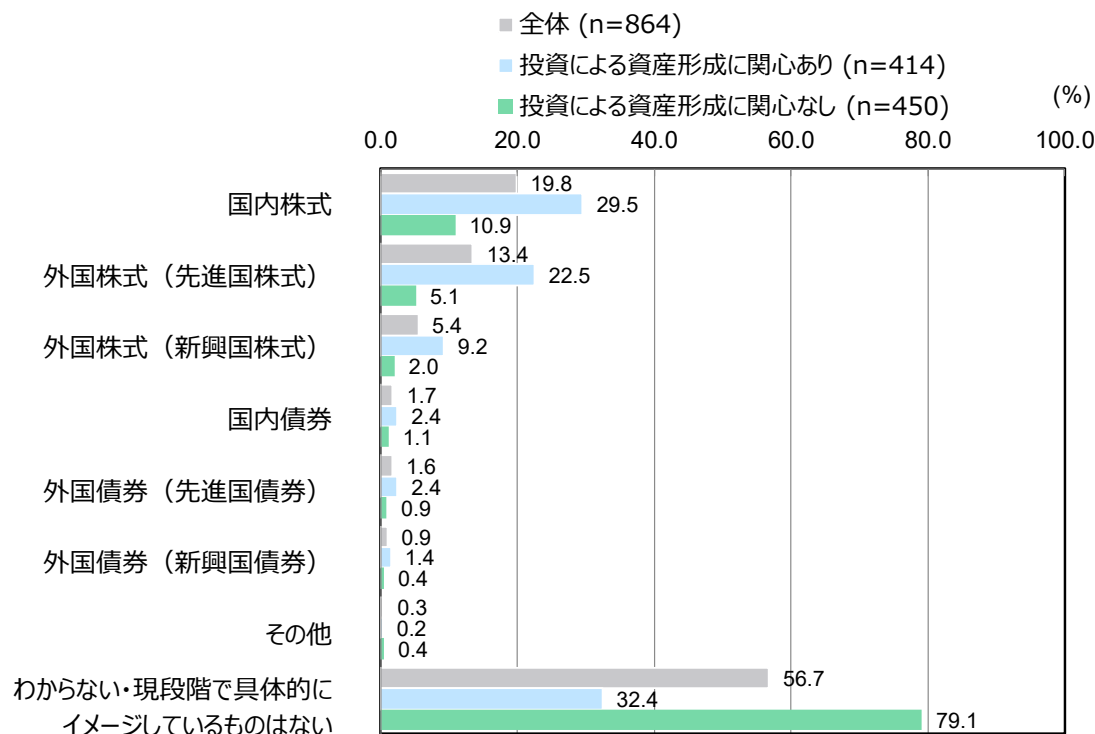


魅力的な投資先

最も魅力的な投資先については、投資による資産形成に関心がない人の約8割、投資による資産形成に関心がある人でも約3割は、「わからない・現段階で具体的にイメージしているものはない」と回答。これを除くと、投資による資産形成に関心がある人は「外国株式」(※)、投資による資産形成に関心がない人は「国内株式」との回答が最も多かった。

※ 「外国株式（先進国株式）」、「外国株式（新興国株式）」の合計。

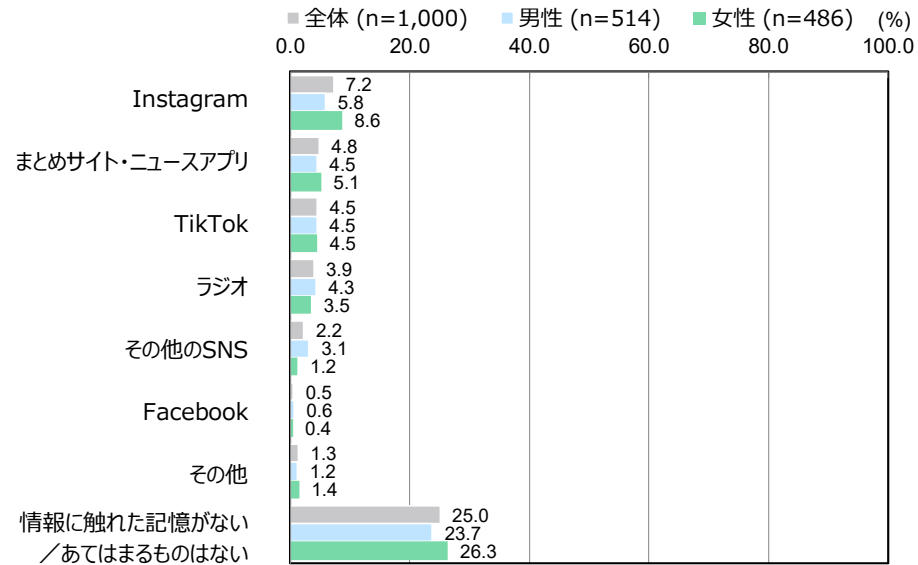
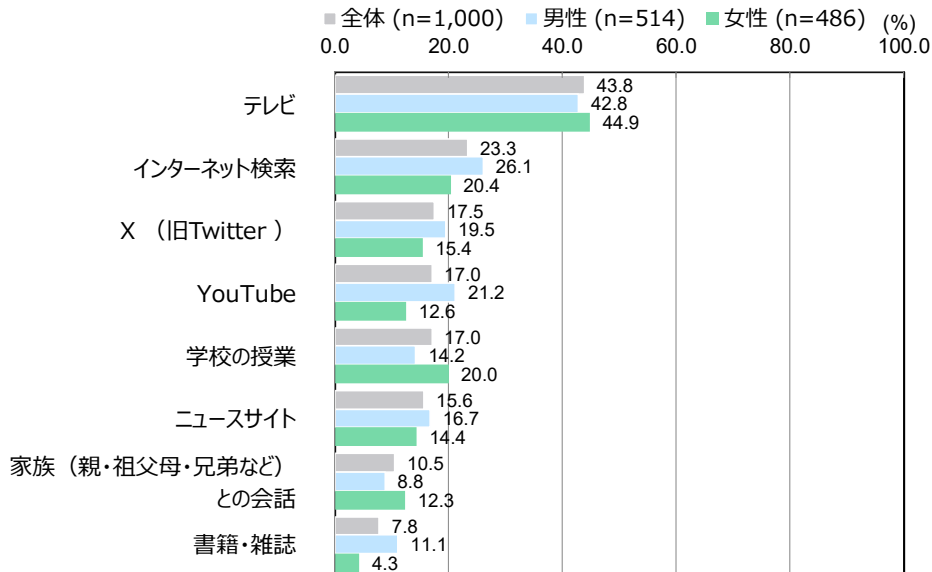
質問6：投資先として、最も魅力的と感じるものはどれですか。（単一回答）



投資に関する情報源

投資による資産形成に関する情報に触れた媒体については、「テレビ」「インターネット検索」「X（旧Twitter）」「YouTube」の順に多かった。

質問7：どのような媒体で、投資による資産形成に関する情報に触れたことがありますか。



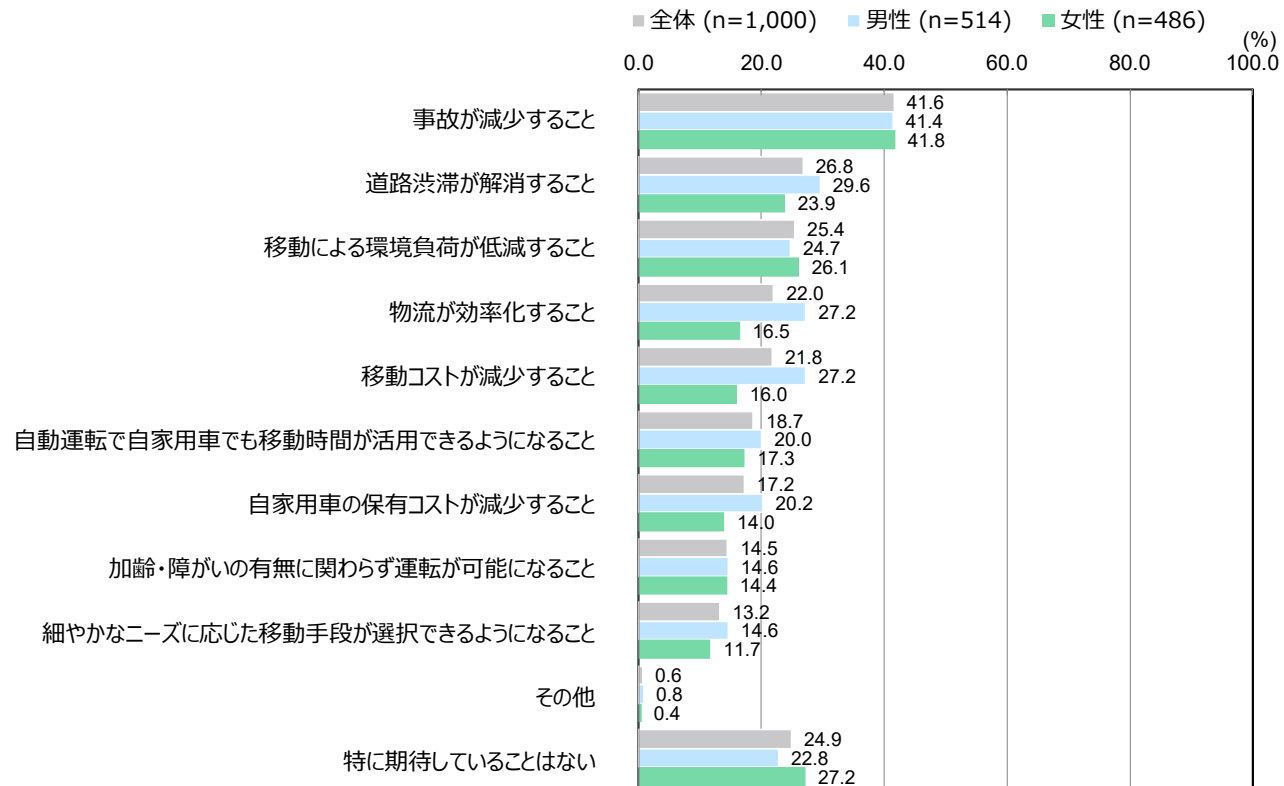
提示文章③

先月、自動車の最新技術や移動手段の未来像を披露する展示会「ジャパンモビリティショー2023」が開催されました。最後のトピックとして、あなたの「自動車」や「モビリティ（ヒトやモノの移動）」に対する考えを、お答えください。

将来の自動車・モビリティに対する期待

将来の自動車・モビリティに対して期待することとしては、「事故が減少すること」「道路渋滞が解消すること」「移動による環境負荷が低減すること」の順に多く挙げられた。

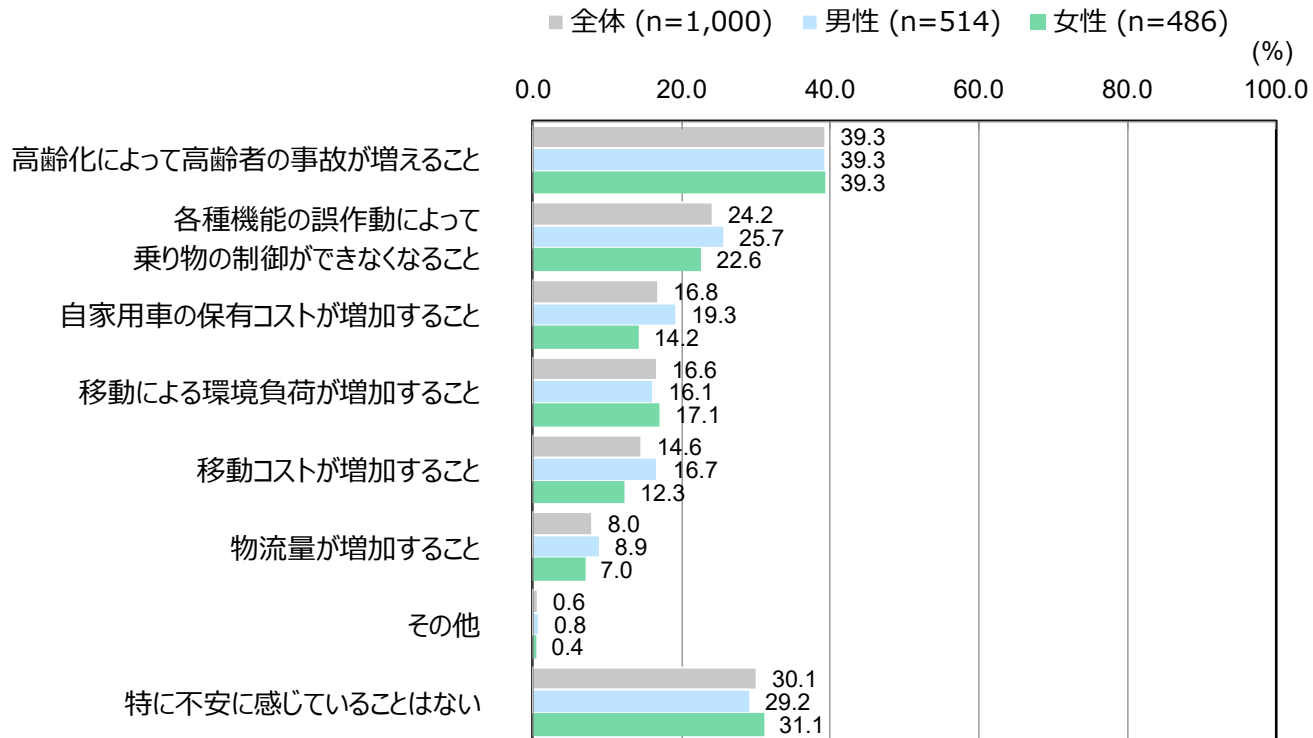
質問8：あなたは、将来の自動車・モビリティに対して、期待を感じていることはありますか。



将来の自動車・モビリティに対する不安

将来の自動車・モビリティに対して不安に感じていることとしては、「高齢化によって高齢者の事故が増えること」「各種機能の誤作動により乗り物の制御ができなくなること」「自家用車の保有コストが増加すること」の順に多く挙げられた。

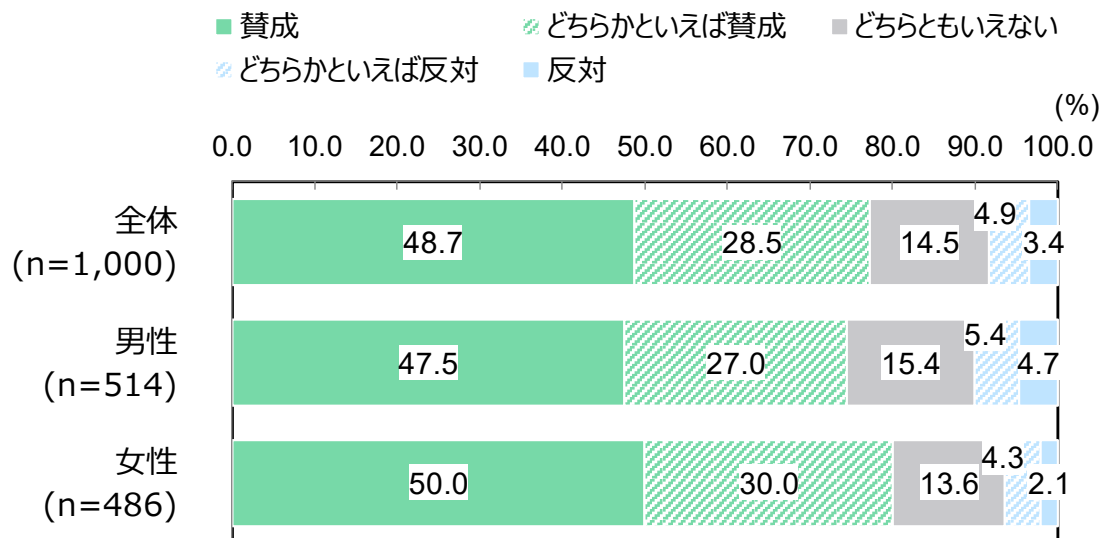
質問9：あなたは、将来の自動車・モビリティに対して、不安に感じていることはありますか。



高齢者の免許返納への考え

一定の年齢に達したら免許返納を義務化するという考え方について、全体の8割近くは「賛成」(*)と回答。* 「賛成」、「どちらかといえば賛成」の合計。

質問10：あなたは、一定の年齢に達したら、免許返納を義務化するという案について、どのような考えを持っていますか。(単一回答)



高齢者の免許返納への考え

免許返納を義務化すべき年齢のイメージとしては「70歳」との回答が最も多く、全体の約3割を占める。また、全体の約3割は高齢者講習の対象外である「60歳以下」もしくは「65歳」をイメージすると回答。

質問11：「一定の年齢」とは、何歳くらいをイメージしていますか。（単一回答）

※質問10で「賛成」「どちらか」と回答した人に表示

